

荒川第二・三調節池整備事業の概要

令和2年11月19日

関東地方整備局

荒川第二・三調節池の事業概要

- 荒川は埼玉県・東京都を貫流し、沿川の土地利用は高密度に進展しており、また下流沿川はゼロメートル地帯が広範囲に広がっていることから、一度氾濫すると被害は甚大となる。
- このため、荒川中流部に荒川調節池群（荒川第二・三調節池）を整備することで河道流量を低減し、調節池より下流の東京都区間を含む広範囲において治水安全度の向上を図る。



注) 堤防、越流堤、排水施設などの位置や幅については検討中のものであり、確定しているものではありません。

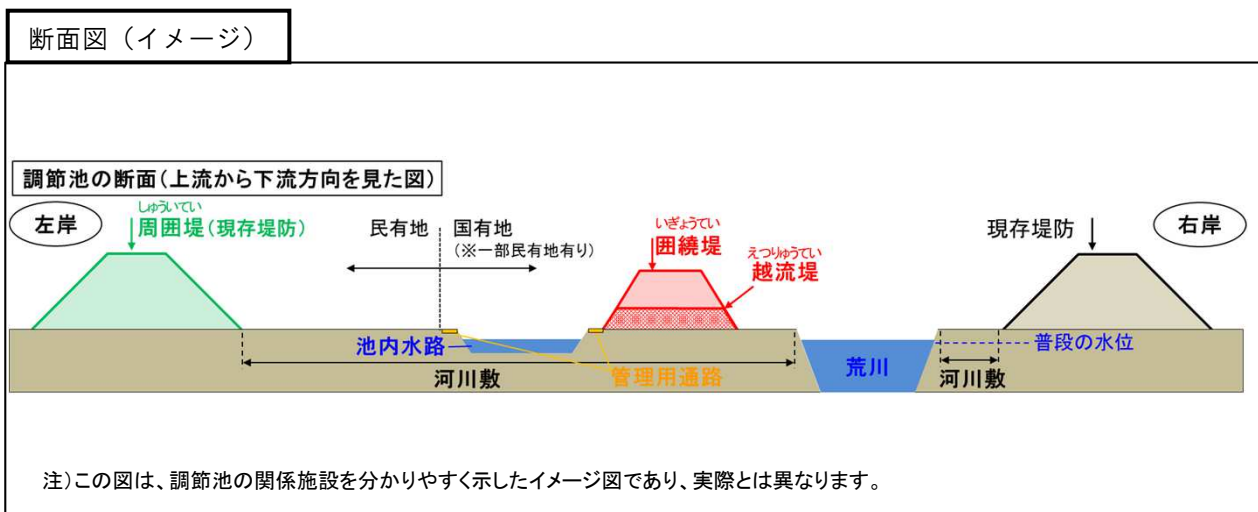
事業の概要 (案)

○場所
埼玉県さいたま市、川越市、上尾市

○全体事業費
約1,670億円

○事業期間
平成30年度～令和12年度(13年間)

○事業内容
荒川第二・三調節池の整備
面積 約760ha(第二:約460ha、第三約300ha)
治水容量 約5,100万m³
(第二:約3,800万m³、第三:約1,300万m³)



JR川越線荒川橋りょう周辺の堤防整備

- 第二調節池の整備区間内にあるJR川越線荒川橋りょう周辺の堤防については、高さや幅が不足しているため、堤防の整備にあわせて橋の架け替えを行います。

【左岸側】

JR川越線踏切箇所での堤防は、計画高さに対して約2.5m低い状況
(※余盛りを含む)

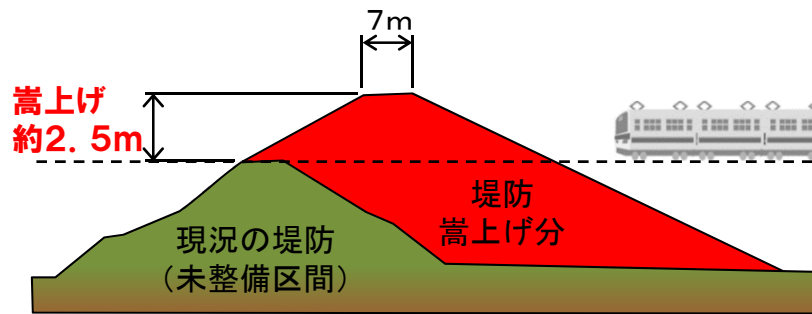


【右岸側】

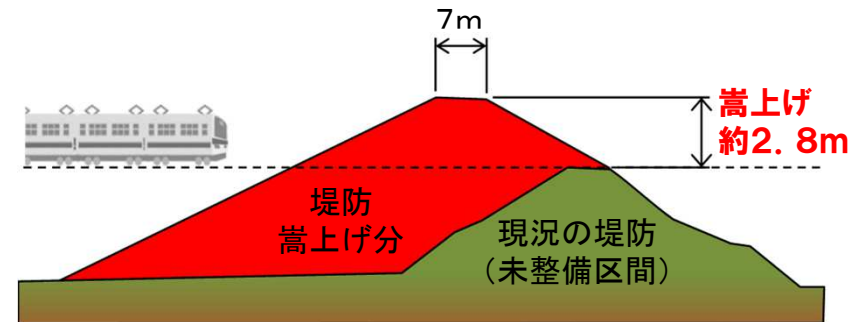
橋桁下面の高さが荒川の計画高水位に対して約1m低い状況。



左岸：堤防嵩上げ概要(堤防断面図)

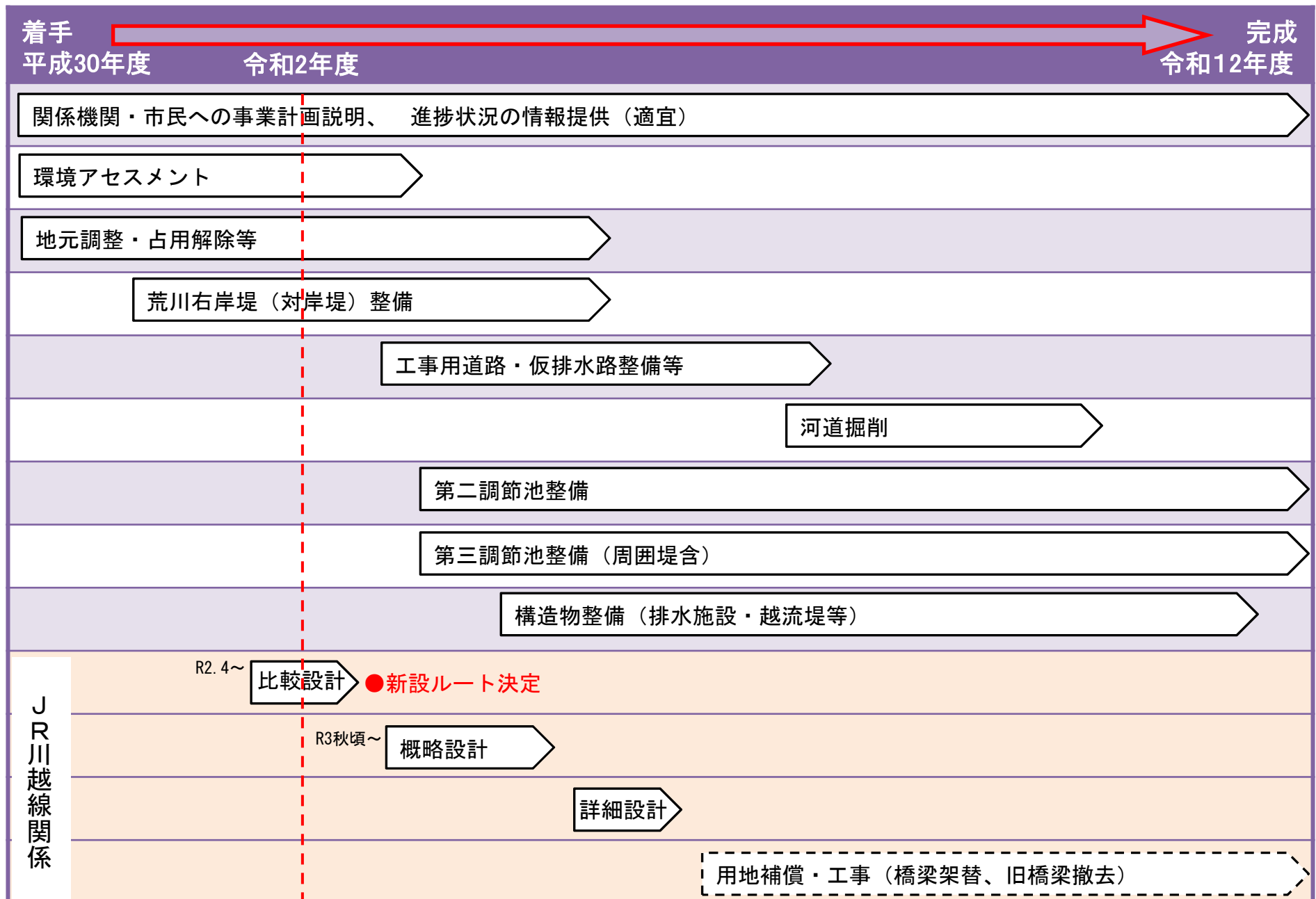


右岸：堤防嵩上げ概要(堤防断面図)



※図面は、分かりやすくするために、横方向を縮めて描いてあります。
記載の寸法は、今後の詳細な測量等により変わる場合があります。

JR川越線荒川橋りょう架け替えに関するスケジュール(案)



※現段階における試算であり、進捗状況等により変わらう可能性があります。